



無形民俗文化財の継承のために 八代民俗伝統芸能伝承館（仮称）起工式



▲杭打の儀を行う藤永組の藤永和広代表取締役社長と豊岡組の豊岡崇志代表取締役

12月9日、八代民俗伝統芸能伝承館（仮称）の起工式が西松江城町の建設予定地で行われ、市関係者や施工業者、地元住民85人が工事の安全を願いました。

この施設は市内各地の無形民俗文化財の保存継承と交流促進を目指した情報発信拠点として、令和3年の開館を目指しています。展示収蔵棟と会議棟の2つの建物で構成。展示収蔵棟には笠鉾の展示や、八代妙見祭の雰囲気を感じることができるシアターなど、会議棟には祭りや出し物練習などに利用できるスペースを設けます。

若者の視点から観光を考える 八代市・明治大学ジョイントプログラム



▲アイデアを出し合う学生たち

12月7日、市立博物館で八代市・明治大学ジョイントプロジェクトが開催され、明治大学の学生や市内の高校生など24人が参加しました。

これは、明治大学国際日本学部助教授の佐藤郁専任講師のゼミ生と八代市の観光政策について意見交換をしているもので、今年で3年目です。

学生らは八代の魅力を多くの人にどのように興味を持たせるかアイデアを出し合いました。八代を花のまちにすることを提案した加賀田小雪さん（八代高校1年）は「いろんな意見をもらえて視野が広がった」と話しました。

八代で最大のコンタクトセンター 2社との立地協定



▲左から小野副知事、曽根邦夫代表取締役、中村博生市長

11月29日、県庁で小野泰輔副知事立ち会いのもと、ウェルネストコミュニケーションズとNIC八代コンタクトセンターが本市と立地協定を締結しました。ウェルネストコミュニケーションズはNIC八代コンタクトセンターを設立し、本市では最大規模のコンタクトセンターを開設。コンタクトセンターでは多くの手段で顧客対応を行います。

NIC八代コンタクトセンターは令和2年4月に操業を開始し3年で80人の新規雇用を予定しています。

オーケストラを身近に感じる はじめてのクラシックコンサート



▲コントラバスを体験する児童

11月20日、八千把小学校で京都フィルハーモニー室内合奏団によるクラシックコンサートが行われ、児童785人がオーケストラの生の演奏を体験しました。

コンサートでは3、6年生による協演もあり、児童らは鍵盤ハーモニカやリコーダー、打楽器などを演奏し、音のハーモニーを楽しみました。

児童を代表して若狭奈央さん（5年生）は「一緒に演奏できて楽しかった。素敵な演奏をありがとうございました」とお礼を述べました。

友好の輪を広げる 市民使節団台湾訪問



▲両市での記念品の交換（右が林市長）

本市と台湾基隆市との友好交流協定締結1周年を記念して「八代市民使節団」（市民や中村博生市長ら63人）を結成し11月14日～17日に台湾を訪れ、くまもと県南フードバレーフェア in 台湾基隆市のオープニングセレモニーへの参加や基隆市役所への訪問で同市との交流を深めました。

基隆市役所訪問では基隆市の林右昌市長が「市民の熱いおもてなしを受け取ってほしい」と歓迎すると、中村市長は「基隆市民との交流や観光を楽しみにしています」と話しました。

泥だらけになって 保育園児の芋掘り体験



▲芋を傷つけないように掘る園児

11月13日、YKKAP独身寮敷地内の芋畑で19の保育園、356人の園児が芋掘りを体験しました。YKKAPが地域貢献のために毎年開催しており、今年で17回目となります。

子どもたちは移植して土を掘り、全体を使って自分の顔より大きい芋を掘り起こしました。

約2.2キログラムの芋を掘った増永蓮斗さん（郡築しおかぜ保育園）は「この芋を使って保育園で料理するのが楽しみです」と笑顔で話しました。

100歳おめでとうございます



吉田 ミトシさん
（福正町）
大正8年12月15日生

4人きょうだいの末っ子として生まれ育ったミトシさん。2人の子どもに恵まれ、仕事熱心で80歳まで看護師、家政婦などいろいろな職業に従事。現在生活している施設では他の入所者や職員とのおしゃべりが大好きで、歌や踊りのステージを観るのが楽しみ。

長寿の秘訣は「好き嫌いせず残さず何でも食べる（こと）」。

防災機能を強化した施設 高田コミュニティセンター起工式



▲鉄入の儀を行う平松建設株式会社
平松治幸代表取締役

12月15日、本野町の高田コミュニティセンター跡地で中村博生市長、地元関係者など約50人が参加し、高田コミュニティセンター改築工事起工式が行われ、工事の安全を祈願しました。

式では中村市長が「非常用発電機を整備し、防災機能を強化した施設になる」とあいさつ。

工事は、建築を平松建設・鶴山建設の建設工事共同企業体が行い、電気設備を中村電気・ワコー電設・八光電業の電気工事共同企業体が行います。また、機械設備を東設備工業が行い令和3年3月に完成予定。

さわやかな香りでリラックス 日奈久温泉 晩白柚風呂



▲晩白柚風呂を楽しむ地元住民

12月14日から日奈久温泉で晩白柚風呂が開催されるのを前に、12月12日に日奈久温泉金波楼で晩白柚風呂の撮影会が行われました。

これは晩白柚の出荷が最盛期を迎えるこの時期に毎年日奈久温泉で行われており、今年で20回目。晩白柚が浮かんだ湯船に入浴した地元住民らは顔を近づけて香りを楽しんでいました。

日奈久温泉旅館組合の松本啓佑組合長は「たくさんの人に日奈久温泉に来てほしい、他では味わえない晩白柚風呂を楽しんでほしい」と話しました。

自分が望む働き方の実現に期待 お金の家庭教師との立地協定



▲左から小野副知事、木村仁哉代表取締役
中村博生市長

11月27日、県庁で小野泰輔副知事立ち会いのもと、「お金の家庭教師」と本市が立地協定を締結しました。同社は東京に本社を置き、企業の事務や経理のアウトソーシング受託業務を行い、バックオフィスをサポートしています。今回の協定で本町1丁目に事業所を新設し、10人の新規雇用が予定されています。

中村博生市長は「リモートワークは、市民にとっても求職の際に選択肢が広がり、自分が望む働き方を考える良いきっかけになると期待しています」と話しました。

令和3年中の完成を目指して 八代市新庁舎建設工事起工式



▲杭打の儀を行う前田建設工業の
福田幸二郎代表取締役副会長

11月27日、松江城町の市役所跡地で中村博生市長、上村哲三市議会議長、施工業者社員など約120人が参加し、八代市新庁舎建設工事起工式が行われました。

式では、中村市長が「熊本地震から3年7カ月が経過したが、ようやく起工式を迎えられた」とあいさつ。

工事は前田建設工業・和久田建設・松島建設の建設工事共同企業体が行い、大地震にも耐えられる免震構造を採用。緊急時は災害対策活動拠点へ機能転換できるよう計画されています。

絢爛豪華な時代絵巻 八代妙見祭



▲勇ましい獅子舞が披露

11月23日、八代妙見祭が開催され、市内外から訪れた約20万人の見物客でにぎわいました。

神輿、神馬、獅子、笠鉾、亀蛇など江戸時代の祭礼絵巻を再現した40の出し物に約1700人で構成される神幸行列が塩屋八幡宮から八代神社までの約6キロメートルを練り歩き、沿道は行列を見ようというたくさんの人で埋め尽くされました。

砥崎河原では、神馬や飾馬、亀蛇が激しい水しぶきを上げながら駆け抜けると、会場から大きな歓声があがりました。